



A.Takeda

THE FAIRY STAKES

第41回 フェアリーステークス (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 38,000,000円 15,000,000円 9,500,000円 5,700,000円 3,800,000円
付加賞 567,000円 162,000円 81,000円



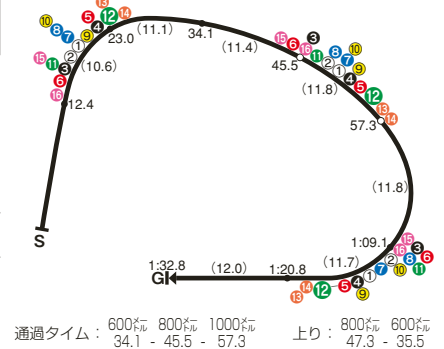
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.1.12 中山 曇・良 芝1600m (国産) (特指)

順	馬番	馬名	性	齢	斤	騎	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	エリカエクスプレス	牝	3	55	戸崎圭太	1:32.8	2-3-3	35.1	456(±0)	5.9②	杉山晴紀(栗東)	107
2	⑬	ティラトーレ	牝	3	55	木幡巧也	3	2-2-1	35.9	488(+2)	6.4④	牧 光二(美浦)	101
3	⑪	エストゥペンダ	牝	3	55	三浦皇成	クビ	12-12-11	34.6	442(+4)	27.8⑨	高柳瑞樹(美浦)	100
4	①	マイスターヴェルク	牝	3	55	T.マーカド	ハナ	7-7-7	35.0	498(+8)	6.6③	勢司和浩(美浦)	100
5	②	キタノクニカラ	牝	3	55	丸田恭介	3	11-10-9	35.3	388(±0)	72.8⑬	小島茂之(美浦)	
6	⑯	レモンバーム	牝	3	55	団野大成	ハナ	16-13-11	35.0	448(-4)	94.7⑯	嘉藤貴行(美浦)	
7	⑤	ハードワーカー	牝	3	55	佐々木大輔	2	4-4-4	36.3	484(+8)	99.0⑯	竹内正洋(美浦)	
8	⑭	ミラーダカリエンテ	牝	3	55	石川裕紀人	¾	12-16-14	35.1	472(-2)	107.4⑯	相沢 郁(美浦)	
9	⑨	レイユール	牝	3	55	嶋田純次	½	7-10-11	35.9	416(±0)	4.7①	手塚貴久(美浦)	
10	⑦	ホウオウガイア	牝	3	55	田辺裕信	クビ	7-7-8	36.3	436(+12)	6.1③	大竹正博(美浦)	
11	③	ジャルディニエ	牝	3	55	斎藤 新	¾	12-13-14	35.7	438(-12)	14.0⑦	奥村 豊(栗東)	
12	⑧	モルティフレーバー	牝	3	55	北村宏司	3	6-5-5	37.1	454(+12)	14.8⑧	清水久詞(栗東)	
13	④	ネーブルオレンジ	牝	3	55	丹内祐次	¾	4-5-5	37.2	466(+2)	62.8⑯	杉山佳明(栗東)	
14	⑥	ミントッピー	牝	3	55	松岡正海	クビ	15-15-14	36.3	444(+2)	8.4⑥	堀内岳志(美浦)	
15	⑩	ルージュミレーネル	牝	3	55	横山和生	7	7-7-9	38.2	442(-2)	30.8⑯	斎藤 誠(美浦)	
16	⑭	ニシノラヴァンダ	牝	3	55	菅原明良	1	1-1-2	39.4	432(+12)	45.0⑯	奥平雅士(美浦)	

単勝⑫590円(2[△]△) 複勝⑫260円(4[△]△) ⑬240円(3[△]△) ⑪620円(10[△]△) 枠連⑥-⑦2,040円(10[△]△)
馬連⑫-⑬2,700円(13[△]△) ワイド⑫-⑬1,080円(13[△]△) ⑪-⑬3,400円(39[△]△) ⑪-⑬2,880円(37[△]△)
馬単⑫-⑬5,470円(27[△]△) 3連複⑪-⑫-⑬24,750円(86[△]△) 3連単⑫-⑬-⑪105,960円(355[△]△)
5重勝⑩⑬④②⑩7,670,090円(55票) 対象競走：中山9R/中京10R/中山10R/中京11R/中山11R



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m
34.1 - 45.5 - 57.3 47.3 - 35.5

アラカルト

- ・戸崎圭太騎手はプリモシーンで制した18年に続くフェアリーステークス3勝目。JRA重賞は通算78勝目
- ・杉山晴紀調教師はフェアリーステークス初勝利。JRA重賞は通算22勝目
- ・エビファネシア産駒はJRA重賞通算24勝目
- ・勝ちタイム1:32.8は11年にダンスファンタジアが記録した1:33.7を0秒9更新するレースレコード
- ・非当選馬 9頭(アイサンサン、カリーン、キスアンドクライ、キョウエイボニータ、シホリーン、ジョリーレーヌ、パリーラスター、プリンセッサ、ホリアン)

エリカエクスプレス Erika Express

牝 黒鹿毛 2022.3.8生
北海道浦河町 三嶋牧場生産
馬主・三木正浩氏 栗東・杉山晴紀厩舎
馬名意味・冠名+快速

		エンタイスDIRE系 F8-d
エピファネイア 鹿毛 2010	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S.
		Tee Kay
	シーザリオ 青毛 2002	スペシャルウィーク
		キロフプリミエールGB
エンタイスDIRE Enticed 鹿毛 2016	Galileo 鹿毛 1998	Sadler's Wells
		Urban Sea
	Dialafara 芦毛 2007	Anabaa
		Diamilina

5代までのインブリード：Sadler's Wells M3×S4 Northern Dancer M4×S5×M5

INTERVIEW

三嶋健一郎 専務(三嶋牧場)

強くて鮮やかな勝ち方に驚きました

まだ1勝馬ですし、どんな競馬をしてくれるのかと思っていましたが、とても強くて鮮やかな勝ち方だったので驚きました。牧場に導入したばかりの母馬にエピファネイアを付けたのは、体形的に合うのではないかと思ったからです。生まれた時のエリカエクスプレスは線のきれいな馬でした。桜花賞へは直行するようですが、無事に本番を迎えてくれることを願っています。



Photostud

エピファネイア産駒の本馬は昨年10月、京都・芝1600mの新馬戦でデビューし、逃げ切り勝ち。約3カ月の休養を挟んで臨んだこの日は好位に控える形となり、中盤までは折り合いに苦労する場面も見受けられたものの、決して「ズムーズ」とはいえない走りから従来のレースレコード(2011年ダンスファンタジアの1分33秒7)を0秒9も塗り替えたのだから驚く。ガリレオ産駒の母エンタイスDIREは愛タビ馬カプリの全妹。血統的背景も申し分ない快足牝馬の今後が本当に楽しみです。

ハイペースで飛ばしたニシノラヴァンダの逃げ脚は4コーナーで鈍り、2番手のティラトリーレがかわって先頭へ。しかし直線の坂下、エリカエクスプレスは「持ったまま」の手応えでこれに並びかけ、突如と突き放す。先頭へ抜け出してからもその脚勢は陰らず、3頭横一線の2着争いを尻目に危なげのないフィニッシュを決めた。

したエリカエクスプレスを懸命になだめつつ、戸崎圭太騎手は離れた3番手に腰を落着ける。3番人気の支持を集めた百目草特別の2着馬ホウオウガイアは中国を追走。完勝した同舞台の新馬戦、小差の2着に食い下がった赤松賞と、2戦連続で出走馬中最速の上がりタイムを記録、1番人気に支持されたレイユールはその直後につけ、直線勝負に構えた。

傑出した速さでレースレコード勝ち

父エピファネイア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、香、首14戦6勝(ジャパンC^{G1}、菊花賞^{G1}、神戸新聞杯^{G2}、ラジオNIKKEI杯2歳S^{G2}、日本ダービー^{G1}2着、皐月賞^{G1}2着)、15年から供用、21~24年日本2歳リーディングサイヤー2位〔代表産駒〕**ダノンデサイル**(日本ダービー^{G1}、京成杯^{G2}、有馬記念^{G1}3着)、**デアリングタクト**(桜花賞^{G1}、オークス^{G1}、秋華賞^{G1}、ジャパンC^{G1}3着)、**エプフォーリア**(皐月賞^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}、有馬記念^{G1}、日本ダービー^{G1}2着)、**ステレンボッシュ**(桜花賞^{G1}、オークス^{G1}2着、阪神ジュベナイルシリーズ^{G1}2着)、**ブローザホーン**(宝塚記念^{G1}、日経新春杯^{G2}、天皇賞(春)^{G1}2着)、**テンハッピーローズ**(ヴィクトリアマイル^{G1})、**サークルオブライフ**(阪神ジュベナイルフィリーズ^{G1})、**アリストテレス**(アメリカJCC^{G2}、菊花賞^{G1}2着)、**イズジョーノキセキ**(アイルランドトロフィー府中牝馬S^{G2})、**モリアーナ**(紫苑S^{G2})、**ジャスティンカフェ**(エプソムC^{G2})、**セルバーク**(中京記念^{G2})、**ビザンチンドリーム**(きさらぎ賞^{G2})、**イフェイオン**(フェアリーS^{G2})、他に活躍馬多数

母エンタイスDIRE

愛2戦0勝。20年輸入

ダノンケイツー(21 牡父Justify)持込 中央3戦1勝 ㊟

エリカエクスプレス 本馬(22 牝父エピファネイア)中央2戦2勝(フェアリーS^{G2}) 獲得総賞金45,767,000円
(23 牝父エピファネイア)
(24 牝父コントレイル)

祖母ディアラファラ Dialafara

フランス産 仏1勝

ソヴリンパレード Sovereign Parade(13 牝父Galileo)英1勝、**コミッシヨニングGB**(フィリーズマイル・英^{G1}、ロックフェルS・英^{G2})の母
カプリ Capri(14 牡父Galileo)中央0勝、愛、英、仏6勝(愛ダービー^{G1}、英セントレジャー^{G1}、バレスフォードS・愛^{G2}、アレジッドS・愛^{G3})
サイプレスクリーク Cypress Creek(15 牡父Galileo)愛、英、独2勝(ラフブラウンS・愛^{G3}、ラフブラウンS・愛^{G3}2着)
エンタイスDIRE(16 前出)
パッションIIIRE(17 牝父Galileo)愛、英、仏2勝(スタネーラS・愛^{G3}、愛オークス^{G1}3着、英チャンピオンズフィリーズ&メアズS^{G1}3着)
タワーオブロンドン Tower of London(20 牡父Galileo)首、愛、沙、英6勝(カラC・愛^{G2}、ドバイゴールドC・首^{G2}、レッドシーターフH・沙^{G3}、ニジンスキーS・愛L)

フルゲートを埋めた16頭のうち、2勝馬は2頭のみ。例年同様、取得賞金400万円の1勝馬が主力を占めるメンバー構成によって争われたフェアリースだが、勝ち馬が演じたパフォーマンスは例年になく「圧巻」といえるものだった。新馬戦を勝ち上がったばかりの1戦1勝馬ながら、2番人気に支持されたエリカエクスプレスが、傑出した速さと強さを見せ付けて完勝。デビュー2連勝で重賞初制覇を果たし、桜花賞の有力候補に浮上した。

函館2歳Sの2着馬ニシノラヴァンダが先導役を務めたレースは、前半800mの通過が45秒5というハイペースで進行。それでも前進氣勢を露わに